

一般
質問

町政を問う

*質問内容

多岐にわたる

3月5日、一般質問がおこなわれ6氏が登壇し町政をただしました。その内容は、集落営農など農業問題や下水道加入率の問題、消防団の今後のあり方や課題解消に向けた産業振興、公共施設の統合問題や町長の政治姿勢についてなど多岐にわたりました。

質問者

武藤 威 議員
吉野 久 議員
森元 淑雄 議員
熊谷 隆一 議員
福田 守 議員
泉 美和子 議員

零細農家も支援すべきだ 自主的に参画できる制度だ

武藤威議員 品目横断的
経営安定対策事業の集落
営農についてうかがう。

- ① 組織づくりの状況。
- ② 員数合わせの集落営農
組織はないか。
- ③ 組織と
個人担い手間での作業料
金差問題が起きないか。
- ④ 構成員と組織自体の課
税、また消費税の関係は
どうなる。
- ⑤ 面積要件緩
和の考えはないか。
- ⑥ 経
理一元化の撤廃、経理関
係者配置への支援を要望
する。
- ⑦ 認定農業者との
連携と農機具更新への助
成制度を要望する。
- ⑧ 中
山間地域直接支払い制度
の要件緩和と要望の考えは
ないか。
- ⑨ 取り組み遅れ
の地域もあり制度実施
延期の働きかけをすべき
だ。
- ⑩ 地域農業存続が食
糧を守る担い手と位置づ
け零細農家も支援すべき
だ。

町長 ①集落営農組織が
51組織、法人が7法人設
立している。②趣旨周

知と認識が徹底されてお
り員数合わせの組織はな
い。③農業者が協働作業
を行う団体で組織外作業
は受託せず問題は起きな
い。④国税当局が判断す
べき事項であり答弁でき
ない。⑤農家の主体性が
必要な対策だが進捗率は
勘案すれば緩和の必要は
ない。⑥一元化撤廃は対
策の根幹を崩す。また、
経営は自らおこなうこと
が基本だが研修機会を設
ける。⑦連携は必要で農
地・水・環境保全対策で
方針を指示している。機
械の新規取得には助成制
度があるが更新には難し
い。⑧会計監査院の指摘
による対象農用地の厳正
な取り扱い通達があり緩
和要望できない。⑨新制
度開始まで1ヶ月の現在
時点で加入申請が整った
組織が多数あり考えてい
ない。⑩この対策は規模
の大小にかかわらず農家
自身の主体性により参加
可能な制度だ。

高上げ助成の考えは

武藤議員 農地・水・環
境保全向上対策について
うかがう。

環境重視の農業生産に
助成する考えはないか。

また、地域住民の参加
や交流の場、高齢化や混
在化の割合に地域差があ
る。その対策と支援をど
うするか。

そして、活動組織の経
理と税金関係はどうなる
か。

町長 2階建て対策とし
て、環境負荷低減の取り
組みに対し10アールあた
り6千円助成する。また
「美郷こだわり米元気事

業」として町独自の支援
も準備する。

地域差対策では、交付
金が地域の実態に即して
効果的に活用されるよう
指導する。

経理は、関係団体の協
力が得られる体制だ。ま
た税金は、組織には課税
されないが、個人は申告
が必要だ。

改良工事を年度計画に

武藤議員 湯竹・山根・



座堂線と、本堂・百目
木線は交通量が多く、以
前から歩道要望などがあ
る。
町の年次計画に組み入
れるべきだ。

町長 湯竹・座堂線は、
総合計画の後期計画期間
内に整備したい。本堂・
百目木線は、同地区の基
盤整備事業の中で取り組
むよう、県・土地改良区
と調整している。

武藤 威議員